

平成 29 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福島福祉施設協会

I 事業報告

1. 福祉施設経営

福島市の総合福祉施設経営団体として、合理的かつ能率的な施設経営を行うとともに、地域住民や利用者の要望に対処するため、地域社会と密接な連携を保ちながら、施設機能の活用を図るとともに福祉向上に努めた。

2. 法人運営

- (1) 社会福祉法の改正に伴い社会福祉法人としての重要な役割を果たすべく、新たな役員、評議員の経営組織をもって事業運営に関する透明性の向上ができるよう諸規程の整備を行った。
- (2) 職員の人材確保のため、職員採用試験を実施し即戦力となる臨時雇用職員から 4 名、新卒者 1 名の優秀な人材を採用した。
- (3) 老朽化した施設の建替えや修繕のための財源の確保に努めた。

3. 役職員の資質向上

- (1) 協会職員としてのキャリアパスの整備・構築を保育所において実施し、人間性の向上と経営環境の変化に適応できるよう意識高揚に努めた。
- (2) 役職員の意思疎通を図り、施設運営の高揚に努めた。
- (3) 職員の人材確保に努めるとともに、各種研修を通じ社会福祉理念、技術の修得向上に努めた。
- (4) 臨時職員の無期雇用転換職員の雇用等に関する規則を整備し、平成 30 年度の申込み開始に備えた。

4. 施設改善事業

- (1) 福島保育所改築の実施計画に基づき、工事及び工事監理業務の請負業者を決定し、工事を進めた。
- (2) 介護保険通所介護及び訪問介護において、より地域に根差したサービスの提供に努めた。
- (3) 施設の改修を行い環境改善に努めた。
- (4) 施設の器具、遊具等の点検を行い安全管理に努めた。
- (5) 法人事務局と施設間における情報の共有化と連携体制を構築した。

5. 評議員会・理事会・監事会の開催

(1) 評議員会

定時 平成 29 年 6 月 16 日（金）

報告第 1 号	平成 28 年度事業報告の件
議案第 1 号	平成 28 年度決算承認の件
議案第 2 号	平成 29 年度各会計資金収支補正予算
議案第 3 号	役員等報酬規程承認の件
議案第 4 号	理事選任の件
議案第 5 号	監事選任の件

臨時第 1 回 平成 29 年 12 月 8 日（金）

議案第 6 号	基本財産処分の件
議案第 7 号	予算外の新たな義務の負担が生じる臨機の措置の件
議案第 8 号	平成 29 年度各会計資金収支補正予算

臨時第2回 平成30年3月28日(水)

- 議案第9号 平成29年度各会計資金収支補正予算
- 議案第10号 長期継続の契約ができる契約に関する規程制定の件
- 議案第11号 役員報酬規程の一部変更の件
- 議案第12号 保育所管理規程の一部変更の件
- 議案第13号 平成30年度事業計画策定の件
- 議案第14号 平成30年度各会計資金収支予算

(2) 理事会

第1回 平成29年4月1日(土)

- 議案第1号 会長選任の件
- 議案第2号 副会長選任の件
- 議案第3号 常務理事選任の件

第2回 平成29年5月29日(月)

- 議案第4号 平成28年度事業報告承認の件
- 議案第5号 平成28年度各会計決算承認の件
- 議案第6号 経理規程の一部変更の件
- 議案第7号 福島恵風園管理規程の一部変更の件
- 議案第8号 保育所管理規程の一部変更の件
- 議案第9号 平成29年度各会計資金収支補正予算
- 議案第10号 定時評議員会招集事項決定の件

第3回 平成29年6月16日(金)

- 議案第11号 会長選任の件
- 議案第12号 副会長選任の件
- 議案第13号 常務理事選任の件

第4回 平成29年6月28日(水) 書面決議

- 議案第14号 福島恵風園浴槽用貯湯槽交換工事請負契約締結の件

第5回 平成29年7月19日(水)

- 議案第15号 福島保育所改築工事に係る建築実施設計業務委託契約締結方法決定の件

第6回 平成29年7月21日(金)

- 議案第16号 福島保育所改築工事に係る建築実施設計業務委託契約締結の件

第7回 平成29年11月22日(水)

- 議案第17号 就業規則の一部変更の件
- 議案第18号 保育所職員に対する処遇改善に係る手当等の支給に関する規程制定の件
- 議案第19号 基本財産処分の件
- 議案第20号 予算外の新たな義務の負担が生じる臨機の措置の件
- 議案第21号 福島保育所改築工事に係る契約締結方法決定の件
- 議案第22号 福島保育所改築工事監理業務委託に係る契約締結方法決定の件
- 議案第23号 福祉貸付資金借入金(福島保育所改築工事)申し込みの件
- 議案第24号 平成29年度各会計資金収支補正予算
- 議案第25号 平成29年度 第1回臨時評議員会招集事項決定の件
- 報告第1号 職務の執行状況について

第8回 平成30年1月30日(火)

- 議案第26号 福島保育所改築工事請負契約締結の件
議案第27号 福島保育所改築工事監理業務委託契約締結の件
議案第28号 介護職員処遇改善に係る介護職員処遇改善一時金の支給に関する規程制定の件

第9回 平成30年3月14日(水)

- 議案第29号 平成29年度各会計資金収支補正予算
議案第30号 就業規則の一部変更の件
議案第31号 臨時雇用職員の雇用等に関する規程の一部変更の件
議案第32号 無期雇用転換職員の雇用等に関する規程制定の件
議案第33号 長期継続の契約ができる契約に関する規程制定の件
議案第34号 役員等報酬規程の一部変更の件
議案第35号 保育所管理規程の一部変更の件
議案第36号 平成30年度事業計画策定の件
議案第37号 平成30年度各会計資金収支予算
議案第38号 施設長選任の件
議案第39号 平成29年度 第2回臨時評議員会招集事項決定の件
報告第2号 職務の執行状況について

第10回 平成30年3月28日(水)

- 議案第40号 福島恵風園給食業務委託契約締結の件
議案第41号 福島恵風園夜間見守り業務委託契約締結の件

(3) 監事会

平成29年度 業務執行、財務状況監査

平成29年5月23(火)24日(水)

6. 役員等研修会への参加

平成29年度 社会福祉法人等代表者会議

- 主 催 福島県保健福祉部福祉監査課
期 日 平成29年6月8日(木)
場 所 郡山市労働福祉会館
出 席 者 木村 六朗

平成29年度 福島県社会福祉法人経営者協議会・全国経営者協議会セミナー

- 主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 平成29年7月31日(月)
場 所 コラッセふくしま
出 席 者 木村 六朗、菊池 稔

平成29年度 社会福祉法人評議員研修

- 主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 平成29年8月1日(火)
場 所 ビッグパレットふくしま
出 席 者 森口 佳子、伊藤 重

平成29年度 社会福祉法人理事研修

- 主 催 社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日 平成29年9月4日(月)

場 所	ビッグパレットふくしま
出 席 者	木村 六朗・渡邊 英子
平成 29 年度	社会福祉法人監事研修
主 催	社会福祉法人福島県社会福祉協議会
期 日	平成 29 年 11 月 24 日 (金)
場 所	福島県農業総合センター
出 席 者	阪内 戦三郎
平成 29 年度	苦情解決責任者・第三者委員研修
主 催	社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県運営適正化委員会
期 日	平成 29 年 12 月 15 日 (金)
場 所	ビッグパレットふくしま
出 席 者	紺野 啓三 (苦情解決第三者委員)

7. 職員研修の実施

平成 29 年度	新規採用職員研修会 (年 2 回)
期 日	平成 29 年 4 月 18 日 (火)、9 月 19 日 (火)
場 所	協会会議室
内 容	社会人・組織人としての基本的な考え方
参加人数	平成 29 年 4 月 1 日付採用職員 5 名
平成 29 年度	副主任研修会 (年 4 回)
期 日	平成 29 年 4 月 13 日 (木)、6 月 21 日 (水)、8 月 22 日 (火)、 10 月 4 日 (水)
場 所	協会会議室
内 容	リーダースキルの体得
出 席 者	副主任 12 名
平成 29 年度	第三者評価研修
期 日	平成 29 年 7 月 5 日 (水)
場 所	協会会議室
内 容	第三者評価について研修
参加人数	所長、主任
平成 29 年度	職員合同研修会
期 日	平成 29 年 11 月 12 日 (日)
場 所	ラコパふくしま
内 容	接遇・マナー研修
参加人数	124 名
平成 29 年度	第三者評価研修
期 日	平成 30 年 1 月 11 日 (木)
場 所	協会会議室
内 容	第三者評価について研修
参加人数	副主任

Ⅱ 実績報告書

養護老人ホーム

福島恵風園

1. 運営管理

- (1) 入所者の終のすみ家と考え、快適な生活が送れるよう健康や食事等、生活に潤いを与える行事活動の充実を図った。
- (2) 介護の必要な入所者は介護保険サービスを利用し、機能の維持を図った。
- (3) 被虐待高齢者、一人暮らしによる生活苦の高齢者、身元引受人のいない高齢者の積極的受け入れを行った。
- (4) 100名の定員を充足するため、地域で生活支援を必要としている高齢者を入所につなげるよう福島市、包括支援センターに働きかけた。
- (5) 養護老人ホーム入所の実態が入所基準と大差があるため、行政へ現状の報告と実状に合った職員配置の要求をした。
- (6) 平成26年に実施された消費税増税に伴う措置費単価の増額について、毎年要求を行ってきたが、平成29年度より生活費の単価について増額された。
- (7) 「福島市あらかわクリーンセンター」からの給湯を活用した。

2. 職員体制

- (1) 職員間の共通課題意識向上のため、各種研修会へ参加した。
 - ・「自動車運転企業向け研修」(生活相談員・主事)
 - ・一陽会病院と連携した研修(看護師・支援員)
- (2) 夜間業務、園内清掃業務について「福島市シルバー人材センター」に継続委託した。
- (3) 給食業務を「日清医療食品株式会社」に継続委託した。

3. 施設整備

以下の工事を実施した。

- (1) 浴槽用貯湯槽交換工事
- (2) 上水用加圧ポンプユニット設置工事
- (3) 浄化槽改修工事
- (4) 機械室B系統温水暖房管用三方弁交換修繕工事
- (5) 外壁クラック及びシーリング他補修工事
- (6) 上水用加圧ポンプ廻り配管修繕工事
- (7) 井水用ろ過装置ろ材交換工事
- (8) 居室4-1右側造り付けベット撤去・内装修繕工事
- (9) 浄化槽放流ポンプ交換修繕工事
- (10) 浴槽用ろ過装置ろ材交換工事

4. 健康管理

- (1) 定期健康診断、結核検診、検便、インフルエンザ予防接種などを実施した。
- (2) インフルエンザ・ノロウイルス予防のための啓蒙、各所の消毒設備と消毒、加湿など予防に努めた。
 - ・インフルエンザが発症した場合の予防薬投与について承諾を得た。
 - ・園内でインフルエンザ感染者が3名出た時点で、職員の予防薬投与を行った。
- (3) 食中毒防止のための啓蒙に努めた。

- (4) 内部被ばく検査を行った。
5. ニーズへの対応
- (1) アンケートをもとに6種類の旅行を企画し、37名が参加した。
- (2) 食事費用は参加者負担の「外食の会」を新たに企画し、参加者46名が食事を楽しんだ。
- (3) 花見、買い物サービス、園外集会などの充実を図った。
- (4) 月2回の食料品の訪問販売と年2回の衣料品の訪問販売を実施した。
- (5) 洗濯の出来ない入所者のためクリーニング業者を利用した。
- (6) テレビなど電気製品の居室での利用を継続した。
- (7) 自分らしく最後を迎えるため、入所者及び身元引受人に「延命措置」についての希望をとった。
6. 地域交流活動
- (1) 「七夕盆踊り大会」「運動会」を地域の協力を得て実施した。
- (2) ボランティア、慰問などの積極的な受け入れを行った。
- (3) 学生の「体験学習」の場の提供と保育園、幼稚園の幼児との交流を継続実施した。
7. 利用状況

定員		100	人	
入所	人数(3月31日現在)	102	人	
		通常入所		
		男	女	計
		20	82	102
		被災者受入		
		男	女	計
		0	0	0
退所	人数	11	人	
	理由	男	女	計
	長期入院	0	0	0
	死亡	3	4	7
	老人保健施設への転所	0	1	1
	他施設への転所	1	1	2
	自宅へもどる	0	1	1
その他	0	0	0	

通所介護(地域密着型通所介護、介護予防通所介護、介護予防・日常生活支援総合事業) 福島恵風園デイサービスセンター

1. 運営管理
- (1) 利用者の生活の質の向上のため、担当者会議等に出席し家族や、各居宅介護支援事業所等と連携を図った。
- (2) 外部利用者の送迎を安全に安心出来る体制で実施した。
- (3) 入浴介助については、介護職員の確保をし、充実した介助を実施した。
- (4) 各種行事については、季節に応じたレクリエーション等を実施した。
- (5) 食事については、栄養士と連携し個々人のニーズに沿った提供を実施した。
- (6) 介護相談員派遣事業の訪問を受け入れ、意見交換を通し、質の向上に努めた。
- (7) レクリエーション・機能訓練等、楽しみながら心身活性化の実施をした。
- (8) 年2回運営推進会議を開催し、地域との交流・連携を図った。

- (9) 保育所との交流を実施した。
- (10) レクリエーションとして畑作業を取り入れ実施した。
- 2. 衛生管理
 - (1) 空気清浄器を整備し施設内の消毒徹底を図り、感染予防に努めた。
 - (2) 浴槽のレジオネラ菌の検査を年1回実施した。
 - (3) 職員が感染の媒体にならないよう消毒を徹底した。
- 3. 地域交流活動

福島恵風園の夏祭り開催時、事業所紹介を行った。
- 4. 利用状況

年間延べ利用者数		2,854人	
1日平均利用者数		11.8人	
稼働日数		243日	
登録者	人数(3月31日現在)	37人	
	介護度内訳	支援1・2	5人
		介護1	10人
		介護2	9人
		介護3	9人
		介護4	1人
		介護5	2人

居宅介護支援

めぐみの風居宅介護支援センター

- 1. 活動状況及び事業内容
 - (1) 利用者のニーズへの的確な対応及び生活の質の向上を目指し、各事業所との連携、他機関との連携を図りながら、総合的かつ効率的な視点に基づくサービスを実施した。
 - (2) 福島恵風園、福島恵風園デイサービスセンター、ホームヘルパーステーションめぐみと定期的に園内連携会議を開催し、園内利用者のニーズに即応した円滑な介護サービスの提供が行えるよう連携を図った。
 - (3) 指定介護予防支援行有無の委託を地域包括支援センターより受け、介護予防、総合事業のケアマネジメントを行った。
 - (4) 要介護認定調査の委託を受け、毎月要介護認定調査を行った。
 - (5) 事業所内外研修や更新研修に参加し自己研鑽を重ね、専門職としての質の向上に努めると共により良いケアプランの作成や相談援助に役立てた。
 - (6) 地域包括ケアシステム構築に向けた地域ケア研修会や地域の諸団体との関係構築を図った。
 - (7) 利用者、家族の緊急時に対応するために、常時（24時間）担当者と直接連絡をとれる体制を整え、営業時間以外にも対応を行った。

2. 利用状況

居宅サービス計画作成実件数	85	件
予防委託実件数	8	件
給付管理年間総数	888	件
認定調査数	85	件
在宅訪問件数	1,031	件

訪問介護（指定訪問介護、介護予防訪問介護、予防介護・日常生活支援総合事業）

ホームヘルパーステーションめぐみ

1. 運営管理

- (1) 主に福島恵風園在園者を中心に据えながら、在宅利用者に対してもホームヘルプサービスを提供した。個人の有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事等の介助、及びその生活全般にわたる援助を提供した。
- (2) めぐみの風居宅介護支援センター、地域包括支援センター及び福島恵風園との連携を密にとりながら、利用者のニーズに十分配慮し、経営基盤の安定に努めた。
- (3) サービス担当者会議及びリハビリテーション会議への出席等により、保健医療サービス、福祉サービス提供事業者との密な連携を図った。
- (4) 利用者のニーズに対応するため、勤務時間帯を必要に応じて変更し、充実したサービス提供に努めた。

2. 事業内容

- (1) 訪問介護、介護予防・日常生活支援総合事業を提供した。
- (2) 定期的な事業所内研修の実施及び積極的な施設外研修会に参加し、職員の資質の向上と専門性の研鑽に努めた。
- (3) 同一建物内事業所と共に地域の方々とのふれあう機会として、福島恵風園夏祭りの際に、福祉用具の展示及び体験ブースを設けた。

3. 衛生管理

- (1) インフルエンザ感染予防処置のため、マスク等ウイルス対策用品を備え使用した。
- (2) 万が一感染者が発生した場合に、媒体とならないよう消毒を徹底し、感染拡大防止に努めた。

4. 利用状況

年間延べ利用者数		13,134	人	
1日平均利用者数		36.0	人	
稼働日数		365	日	
登録者	人数(3月31日現在)	49	人	
	介護度内訳	支援1・2	2	人
		介護1	7	人
		介護2	12	人
		介護3	22	人
		介護4	3	人
介護5	3	人		

生きがい型デイサービスセンター 福島市渡利デイサービスセンター

1. 運営管理

在宅で生活する介護保険対象外の比較的元気な高齢者及び家に閉じこもりがちな一人暮らしの高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって、生きがいと社会参加を促進するとともに、社会的孤立感の解消及び自立生活の助成に努めた。

2. 運営方針

- (1) 市の委託事業として、利用者の確保と各種行事の実施により、円滑かつ安定した事業の促進を図り、事業目的の達成に努めた。
- (2) 高齢者と子どもたちとの交流や、高齢者の生きがいと社会参加の促進に努めた。
- (3) 事業目的の達成のため、安全で安心して利用できるセンターとして、専門性を広く公開し、地域福祉の向上に努めた。

3. 事業内容

- (1) 基本事業を実施した。

健康相談、送迎、入浴サービス、給食サービス（福島市契約書による）、レクリエーション、ふれあい交流事業を行った。

- (2) 生きがい活動として、趣味活動、日常動作訓練、遠足等を実施した。

4. 利用状況

年間延べ利用者数		2,781	人
1日平均利用者数		11.6	人
稼働日数		240	日
登録者数(3月31日現在)		68	人

老人福祉センター 福島市わたりふれあいセンター

1. 運営管理

高齢者が健康で明るく楽しい日々を過ごすために、健康増進器具や囲碁・将棋及び図書、そして入浴並びに休憩等の施設を活用して憩いの場を提供した。

2. 運営方針

- (1) 利用者の安全確保に努めるとともに、生活相談等の事業を実施することにより事業の目的達成に努めた。
- (2) 地域の各種機関・団体との連携を図り、施設を地域コミュニティー活動の場として開放し、サービスの提供に努めた。
- (3) 利用者が活動しやすい雰囲気づくりに努めた。

3. 事業内容

- (1) 基本事業

高齢者の生活相談、健康相談、健康指導を行った。

- (2) ふれあい交流事業

世代間交流事業に参加した。

4. 利用状況

利用者数	個人	9:00～18:00	22,277	人
		上記のうち入浴者	19,197	人
	団体	9:00～18:00	2	件
		上記の人数	71	人

保育所

福島隣保館保育所、福島保育所、瀬上保育所 福島わかば保育園、福島ふたば保育園、飯坂保育所

1. 運営管理
 - (1) 多様なニーズに応え、保護者が安心して預けられるよう質の高い保育に努めた。
 - (2) 一時預かり、保育体験、避難者や地域のお年寄りとの交流を深める地域の保育ステーションとしての役割を果たすように努めた。
 - (3) 保育の質の向上を図るため、テーマを決め保育士（年3回）、栄養士（年2回）の研修に取り組んだ。
2. 保育状況
 - (1) 保育理念のもと、保育課程に基づき発達段階に応じた保育に努めた。
 - (2) 保護者との共通理解のもと、家庭保育と集団保育との相互関係を大事にしながら保育を進めた。
 - (3) 食育活動として、季節の食材に触れることや、クッキング活動等を通して、望ましい食生活について知らせ、健全な心と体を育てた。
 - (4) 子どもの心身の発達を阻害する事象を見逃さないように努めた。
3. 食育状況
 - (1) 食育年間計画、食育目標、食育方針を作成し、季節、年齢、発達段階に応じた食事の提供を行った。
 - (2) 食の嗜好を常に把握しながら食事を提供し、保護者との連携を密に乳幼児の食生活の指導を行った。
 - (3) 食育の促進について、保育士と栄養士との話し合いを深め全職員で取り組んだ。
 - (4) 医師の診断をもとに、アレルギー除去食を実施した。
 - (5) 食中毒防止に常に留意するとともに、安全を周知するように努めた。
4. 健康管理
 - (1) 嘱託医による乳児健診（毎月）、内科健診（年2回）、歯科検診（年1回）を実施した。
 - (2) 身体測定（毎月）を実施して、成長発達状況の把握に努めた。
 - (3) 専門機関による尿検査（年2回）を実施した。
 - (4) 衛生管理マニュアルに沿って、感染症の予防に努めた。
5. 安全管理
 - (1) 建物、器具、遊具等の点検を行い、安全管理に努めた。
 - (2) 消防署の指導のもとに、避難訓練（毎月）・総合訓練（年1回）を実施した。
 - (3) 児童にわかりやすい防災、防犯の指導に努めた。
 - (4) 交通安全指導の上で絵本や紙芝居を用いた実地指導を実施した。
 - (5) 保育所に関する全ての個人情報の取り扱いにおいては、関係者の同意を得ながら慎重に行った。
 - (6) 乳児室にビデオカメラを設置し、安全な睡眠管理に努めた。
 - (7) 保菌検査の項目（O26・O111・ノロウイルス）を追加し、安全な食事提供を実施した。
6. 施設職員の資質向上
 - (1) 施設外研修に参加した。
 - ① 管内外の研修に参加した。

- ② 各部会研修・研究会（施設長、主任保育士、保育士、給食担当者）へ参加した。
- (2) 施設協会内研修を実施した。
- ① 年間テーマに基づいた年齢別研修及び報告会
- ② 講演会
- (3) 施設内研修を実施した。
- ① 保育課程に基づき保育計画・行事等の検討及び反省
- ② 園外研修参加者による報告
- ③ 施設ごとにテーマを設定した自主研修

7. 利用状況

施設名		福島隣保館 保育所	福島 保育所	瀬上 保育所	福島わかば 保育園	福島ふたば 保育園	飯坂 保育所	合計
定員		120	120	80	60	90	90	560
3月31日現在	年齢別在籍人数							
	0歳	15	13	13	11	11	11	74
	1～2歳	46	38	36	22	36	34	212
	3歳	28	25	16	11	18	23	121
	4歳以上	50	44	33	27	37	39	230
	計	139	120	98	71	102	107	637
	充足率	115.9%	100.0%	122.5%	118.4%	113.4%	118.9%	113.8%
年間延べ	定員	1,440	1,440	960	720	1,080	1,080	6,720
	措置人数	1,638	1,415	1,150	831	1,213	1,251	7,498
	充足率	113.8%	98.3%	119.8%	115.5%	112.4%	115.9%	111.6%
	年齢別在籍人数							
	0歳	155	131	130	97	129	118	760
	1～2歳	548	447	432	270	424	388	2,509
	3歳	333	300	192	132	216	276	1,449
4歳以上	602	537	396	332	444	469	2,780	
	計	1,638	1,415	1,150	831	1,213	1,251	7,498

子育て支援事業

わかば子育てセンター、せのうえ子育て支援センター
いいざか子育て支援センター

1. 運営管理

核家族化少子化とともに、家庭機能の変化、地域社会のつながりの希薄化が進み、子育てに対する様々な問題が広がっている。子育てする環境が複雑になり、困難を抱える子育て家庭等で親子の関わり方が不安定になり、虐待につながることもある。

そこで、子育て支援センターは親子に寄り添い、親の不安を受け止めるとともに、様々な情報を提供し、共に学び考え、遊びを通して子どもが健やかに育つよう活動してきた。また、関係機関と連携を図り、共に子育て支援事業を行った。

2. 事業内容

(1) 子育て親子の交流促進を実施した。

保育園を開放してその機能を活かし、多くの人と交流し遊ぶ広場の活動を継続実施してきた。また、地域の親子がより気軽に子育てセンターの活動に参加出来るように、園外にも親子の交流の場をもうけた。

さらに、子育てサークルのリーダー研修、運営サポートをし、サークルの活動がより充実し楽しく活動を続けられるよう支援をした。

(2) 子育て等に関する相談を実施した。

子育て全般について、電話相談、子育て支援センターへ来園しての面接相談、要請に応じて地域に出向いての訪問相談を実施した。

(3) 子育てに関する情報を提供した。

パンフレット配布、ポスター掲示、ガイドブックやインターネットへの掲載等により、活動内容の広報をするとともに「子育て通信」の発行、その他子育て情報の紹介、各種チラシの配布などを行った。

(4) 講習会を開催した。

講師を迎えて親の学習の機会や、親子での様々な体験活動を通して親と子が共に育つよう支援をした。

(5) 関係機関・施設と連携をした。

関係機関と連携、事業の協力を図りながら子育て支援に取り組んだ。

各学習センター講座講師、福島県子どもの心のケア事業協力

福島福祉施設協会子育て支援センター合同会議・行事、福島市子育て支援センター連絡会への参加

乳幼児健康診査への協力(わかば)、地域「子育て広場」への協力(せのうえ、いいざか)

(6) 研修会への参加、調査・学習研究活動をした。

3. 利用状況

事業別利用者数	施設名		わかば子育てセンター			
	事業項目		開催回数	利用数		
			(回)	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場 ホール開放		221	1,011	909	1,920
	親子教室		14	163	145	322
	赤ちゃん広場「ピヨピヨ広場」		39	378	378	756
	わかば「子育て広場」		14	211	179	390
	合計		288	1,763	1,611	3,388
	施設名		せのうえ子育て支援センター			
	事業項目		開催回数	利用数		
			(回)	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
	子育て広場「いちょうひろば」		130	796	751	1,547
	親子教室「のびのびくらぶ」		19	180	179	359
	赤ちゃん広場「あかちゃんこんにちは」		31	204	205	409
	所庭開放		108	28	24	52
	合計		288	1,208	1,159	2,367
	施設名		いいざか子育て支援センター			
	事業項目		開催回数	利用数		
			(回)	子ども(人)	大人(人)	合計(人)
子育て広場「こぶし」		215	689	606	1,295	
親子教室		17	145	123	268	
所庭開放		45	3	2	5	
合計		277	837	731	1,568	

児童厚生施設

福島市東浜児童センター、福島市野田児童センター

福島市蓬萊児童センター、福島市清水児童センター、福島市渡利児童センター

1. 運営管理

地域の児童健全育成の活動拠点として、児童に健全な遊びを通して、自主性、社会性を身に付け情操を豊かにするとともに、運動に親しむ習慣の形成等により体力及び健康の増進を図り、子育てサークル他青少年に関わる各種団体と連携し地域活動の育成助長を推進した。

2. 活動状況

- (1) 子ども達が安全、安心に遊べる環境づくりに努め、体力の増進が図られた。
 - ① 防犯上、保護者や学校等、各関係機関等と連携を図り安全管理に努めた。
 - ② 遊具等の定期安全点検整備と充実
 - ③ 屋内外の各所修繕等による利用しやすい施設の維持管理
 - ④ 防火の推進、避難訓練の実施
- (2) 児童センターが気楽に立ち寄れる地域の安全な居場所として、センター主催事業の充実に努めた。
 - ① 親子の触れ合いを配慮した事業の展開
 - ② 地域のニーズを把握した各種行事や教室、クラブ活動等の開催
- (3) 放課後児童クラブの活動では児童の健康管理や基礎体力の増進に努めると共に、保護者会との連携及び会主催事業への協力に努めた。
- (4) 児童センターの役割への理解と利用者の増加が図れるよう、独自の広報誌の発行、ホームページの更新等広報活動の充実に努めた。
- (5) 福島市等の行政と連携を図り、子育て支援のために活動の場や各種情報の提供、育児サークルへの参加要請などを行い、安心して子育てが出来るように支援・協力を努めた。
- (6) 子育て支援を行っている関係団体とネットワークを持ち、地域組織の自主的な児童健全育成活動の支援を行った。
 - ① 子育てを考える会の会議等で交流
 - ② 地域の安全点検活動等
- (7) 異年齢児交流事業や世代間交流の推進に努めた。
- (8) けんだまフェスティバル等の 5 児童センター交流会の開催を通して親睦を図ると共に健全育成に関する各種情報の共有化に努めた。
- (9) 職員の資質向上を図るため、センター1日体験やテーマを決めた研修を充実させると共に県内の施設訪問研修等も実施した。
- (10) 中学生や高校生がボランティア等で参加出来る活動を行い、センター利用へつながるように努めた。

3. 利用状況

施設名		東浜 児童センター	野田 児童センター	蓬萊 児童センター	清水 児童センター	渡利 児童センター	合計
利用者数	幼児	1,417	1,545	128	287	2,048	5,425
	1～3年	4,596	13,505	5,360	13,363	8,434	45,258
	4～6年	991	2,659	896	333	1,536	6,415
	中高生	147	622	76	79	1,021	1,945
	大人	1,291	2,135	1,288	543	2,152	7,409
	計	8,442	20,466	7,748	14,605	15,191	66,452
	上記のうち登録児童	2,973	11,696	4,832	12,810	7,481	39,792
	1日平均利用者	28.8	69.7	26.1	49.9	51.5	226.0
	開館日数(日)	294	294	297	293	295	

